

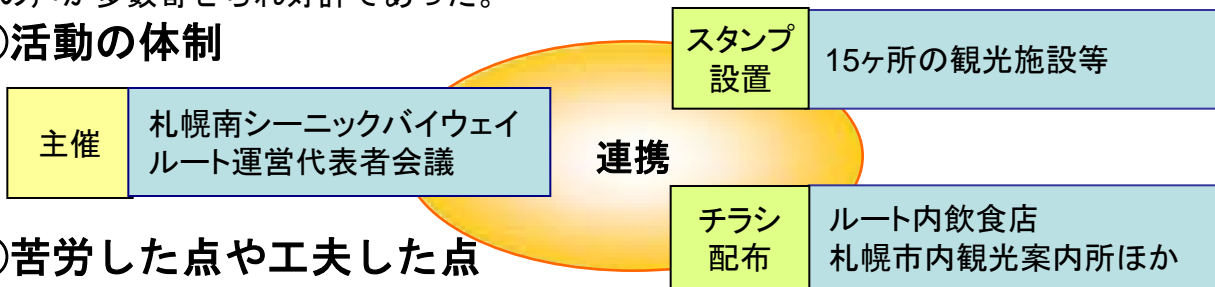
①活動概要

平成22年4月から10月までの6ヶ月間、定山溪温泉、滝野すずらん丘陵公園など、15スポットをめぐるスタンプラリーを実施。各スポットのほか、札幌駅の観光案内所や公共施設、ルート内飲食店等にチラシを配架した（約25,000部）。

景品として、ルートの特徴をアピールした温泉入浴券、旬の果物、南沢蜂蜜の3種類を選定（計180名分）。8ヶ所以上をめぐる応募人数は約1,000名近くと、昨年から200名近く増加した。

さらに新特典として15スポット全てめぐった完全制覇者に、抽選で「定山溪温泉ペア宿泊券」贈呈などの特典を設けたところ、応募者全体の4割に当たる400名（昨年比10倍）が完全制覇を達成し、「範囲が丁度良く周遊しやすい」「来年も企画してほしい」との声が多数寄せられ好評であった。

②活動の体制



③苦勞した点や工夫した点

【苦勞した点】

ルート内に数多く点在するスポットとの調整（果樹園のみで25カ所）

【工夫した点】

ルート内の周遊性をより高めるため、完全制覇者への特典を設けたこと。

折りたたみA4サイズとすることで、公共施設等での配架をしやすくしたこと。

ミニガイドブック的なつくりとして、車のサイドポケットへの常備を想定したこと

④活動の効果

「住んでいながら初めて訪れたところばかりで、地域の魅力を再発見できた」という声が多く、住民の地域への誇りと愛着の醸成を図ることができたほか、シーニックバイウェイの取り組みを多方面にPRすることができた。

⑤今後の活動

参加者の要望を踏まえながら、次年度の実施内容を検討する。



のぼり旗



スタンプラリーチラシ



スタンプイラスト

(札幌市立大学デザイン学部作成)

様式2 (◆候補ルート)

ベストシーニックバイウエイズ・プロジェクト2010

ルート名	札幌南シーニックバイウエイ
活動の名称	シーニックバイウエイスタンプラリー in 南区2010
活動期間	21～22年度
評価の視点	①活動目的・内容の分かりやすさ、②ルートとしての目標の共有、 ③幅広い参加、連携への可能性(地域住民、各種団体、民間、行政等)、 ④シーニックバイウエイ北海道の活動として今後の展開可能性(地域資源の発掘・活用、人材の発掘・育成、活動の継続等)
1. アピールポイント	<p><企画></p> <p>ルート内の回遊促進及び地域経済の活性化を図るため、ルート運営代表者会議の観光部会が中心となって企画。北海道新聞社などからの提案を取り入れながら検討を重ねた。また、参加者のみならず旅行会社に地域の魅力や資源を積極的にPRした。</p> <p><内容></p> <p>今年度は、平成22年4月から10月までの6ヶ月間、定山溪温泉、滝野すずらん丘陵公園、果樹園など、15スポットの観光施設等で実施。昨年度は、北海道新聞の折込チラシを活用し、札幌市内の約40万世帯にPR、今年度は、JR札幌駅や地下鉄大通駅にある観光案内所、公共施設等、飲食店にチラシを25,000部配架した。</p> <p>ルートの特色をアピールするため、スタンプラリーの賞品には、温泉入浴券、旬の果物、南沢蜂蜜の3種類を選定。今年度、8ヶ所以上をめぐって応募した方は昨年度より約200名増加し1,000名、さらに完全制覇者賞を設けた効果か、応募者の4割に当たる約400名(昨年度比10倍)が15箇所完全制覇を達成した。「範囲が丁度良く周遊しやすい」「来年も企画してほしい」との声が多数寄せられ好評である。</p> <p>スタンプは、メンバーである札幌市立大学(デザイン学部)が制作したものであり、各施設の特徴をとらえたイラストが好評で、隠れた人気アイテムとなった。</p>
2. 創意工夫、苦勞した点	<p>【工夫した点】</p> <p>チラシは携帯性だけでなく、一時的なものとしてではなく、長く利用していただき、地域に何度も足を運んでもらうためのガイドブックとなるよう、A4折りたたみ式でミニガイドブック的な内容にした。</p> <p>また、札幌市立大学(デザイン学部)の協力を得て、施設ごとのスタンプをはじめ、のぼり旗、応募箱を制作した。</p> <p>【苦勞した点】</p> <p>制作費(新聞折込経費)は、北海道新聞社や南区役所の協力を得て企業広告から確保した。また、スポット15箇所の中の1スポットである果樹園については、参加者の多様なニーズに応え、より楽しみの多い内容となるように、1つの果樹園ではなく25箇所の果樹園に参加していただいているが、参加協力、調整がとても大変だった。</p>